

精神科認定看護師



認定看護師の役割と活動紹介

リエゾン精神看護担当 樋口和央

精神科認定看護師は何ができる看護師？

認知症は脳の変化が病的に進行するため知的能力の低下から妄想・不安・不眠などの症状が現れる病気です。これらの症状の緩和に「こころに作用する薬（向精神薬）」を服用することが現代の精神科医療の主流となっています。また、高齢の患者さまが入院すると環境変化に対応できなく、身体症状の悪化も誘因となり、せん妄状態に至るケースも少なくありません。せん妄・認知症は向精神薬の使用と、適切な看護介入により症状が緩和できます。

精神科認定看護師は、患者さまとその家族へ「心と体のケアを専門的な看護技術を用いて、実践・指導・相談業務を行い、自己決定を尊重しながら生活の質を高めること」を上位目標として活動しています。

院内での活動内容

リエゾン精神看護とは、精神看護学の知識や技術を他の領域の看護に適用、応用、活用して、身体とともに心も癒すケアを行うということです。

週に1回精神科出張往診医と共にリエゾン精神看護を提供するため院内各病棟を巡回しています。各病棟の看護者へ向精神薬服用時の作用・副作用の観察方法や、せん妄・認知症患者さまへの介入方法・ケアのポイントをアドバイスしています。

せん妄・認知症患者さまへの直接ケアの実践や、患者さま・家族へのコンサルテーションを行っています。

各病棟に出向き、各病棟の特殊性を踏まえた精神科看護・精神科看護倫理の学習会を行っています。



2015年度 院外での活動内容

北海道立旭川高等看護学院 精神看護援助論非常勤講師

日本精神科看護協会北海道支部イベント

こころの日 こころの相談担当

日本精神科看護学術集会 業務改善報告発表